

番号 (都道府 県順)	応募者名 (建築主等)	応募者名 (協議会運営者)	応募事業名	実証の種類	CLTの主な使 用方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	ブライト株式会社 代表取締役 高橋 勲	株式会社テクニカルリサーチ 代表取締役 松下 大紀	(仮称)牛浜駅前木質ビル新 築工事の建築実証	建築、設計、 性能	構造体	本実証はCLT材をログ壁に使用した丸太組構法による3階建ての事務所併用の共同住宅の建築を計画する。協議会において丸太組構法による3階建ての構造検討・評価及び、75分準耐火構造の認定取得のための防耐火構造を検討し燃焼試験を行う。また、同規模のRC造とのコスト比較を行い、CLT材利用のメリット、コスト削減するための施工方法について検証する。	本実証事業のCLTログ材(400mm)は従来のものに比べ倍以上の高さを持ち、施工効率の向上を図る。RC造と本実証事業のCLTを用いた丸太組構法の建築物で、施工コストや工期、人工等の比較を行い、工期短縮及びコスト削減の効果を検討する。	東京都 福生市	用途:事務所併用住宅 構造:丸太組構法 階数:3階建て 延べ面積:566.00㎡ 工事種別:新築 竣工予定:令和5年10月	株式会社テクニカルリ サーチ 松下 大紀
2	株式会社エンゼルフォレスト リゾート 代表取締役社長 田中 耕介	株式会社エンゼルフォレスト リゾート 代表取締役社長 田中 耕介	CLT(LVL)材を利用したヴィラ 型宿泊施設新築工事の建築 実証	建築	構造体、部 位・部品(天 井・壁)	①屋根と外壁の一部をCLTにより一体化させ、在来構法での一般的な施工方法(間柱・胴縁による下地作成)を省くことによる省施工の検証を行う。 ②仕上げにおいても、CLT自体を仕上げとすることで、現在主流となっている石膏ボード+ビニールクロス貼りの手間を省き、木部表しの木質感向上を図り、省施工+温かみのある木部仕上げ効果を狙う。(省施工=総合的なコストダウン) ③複数棟(11棟)の建設による材料と施工の効率性の確認を同時に行う。	本建築物は小規模であることから、S造の屋根組(構造及び下地)と、本事業で実証するCLTを用いた構造、下地組の総コスト、工期、人工等の比較が適切であると考えている。(鉄骨骨組+センチュリーボード等による下地組に対し、CLTが直接構造と仕上げを兼ねる) 本事業における材料調達、施工工程・手法等の課題を分析すると共に、仕上げにおいてもCLTを表しとすることで、構造体が木質を生かした仕上げとなる事により、仕上げ工事まで含めた総コスト、工期、人工の比較検討が可能となる。 複数棟の同時施工により、確度の高い検証ができる。	静岡県 伊豆市	用途:ホテル(簡易宿所 営業) 構造:木造 階数:平屋建て 延べ面積:677.14㎡ 工事種別:新築 竣工予定:令和5年1月	株式会社エンゼルフォ レストリゾート 木村 真一
3	(個人)	studio KOIVU一級建築士事 務所 代表 坂口 友希夫	ウッドシティーを実現する都心 木造CLTオフィスの建築によ るCLTの低コストな安定供給 に向けた実証	低コスト	構造体、部 位・部品(非 耐力壁)	都市部において、工場施工型の高耐力CLT壁+120幅ベースの軸組を用いた都心木造オフィスの標準的なモデルを建設し、CLTの低コストな安定供給について実証する。また、昨年度までの実証事業で開発した工法を用いることで、現場手間や誤差を軽減し、施工期間の短縮とコスト削減について実証する。さらに、同じエリアに木造建築を複数棟建てる計画(ウッドシティー)により、木造の街づくりについても実証する。	本事業で実証する建築物と同程度の建物をS造で建築した場合について、総コスト・工期・人工等で比較し、施工工程・手法、工場施工によるコスト削減等の課題を検討する。また、工場施工型高耐力CLT壁と規格化された木軸組によって、都心木造オフィスの標準モデルによって、他工法と遜色のない価格が実現可能となる。	愛知県 名古屋 市	用途:事務所 構造:木造 階数:3階建て 延べ面積:98.55㎡ 工事種別:新築 竣工予定:令和5年3月	studio KOIVU一級建築 士事務所 坂口 友希夫
4	大和興業 株式会社 代表取締役 梅尾 裕一	有限会社 阪根宏彦 計画設 計事務所 代表取締役 阪根 宏彦	呉市海事歴史科学館(大和 ミュージアム)大型旋盤展示 施設の建築実証	建築	構造体	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)大型旋盤展示施設を設計する。これまでの同メンバーによる実証データを元に、協議会において、接合部の最適納まり等を議論し、汎用性、低コスト性を検討する。実証建築物の建築費は、同規模の鉄骨(ALCまたはデッキスラブ屋根)造建物と比較し、CLT+S造のハイブリット構法のメリット、コスト削減に寄与する工事内容について検証する。	我々の協議会、施工チームはCLT+S造のハイブリット構法での類似の建築物の設計・施工実績が豊富であり、本事業で実証する建築物を鉄骨(ALCまたはデッキスラブ屋根)で建築した場合について、総コスト、工期、人工等を比較するとともに、本事業における材料調達、施工工程・手法等の課題を分析することが可能である。これまで本助成をR1性能・設計R3建築実証等を複数、進め、その知見や同時期の新たな既往の研究を、木質構造建築のフロントに立つ技術チームが、的確に無駄なく検討を進める。また、他工法と遜色のない価格の実現のために、建方のユニット化、工数の縮減を改善する3D検討等、建設前に十分に検討するプロセスを数ヶ月以上取ることで、解決が可能と考えている。	広島県 呉市	用途:博物館 その他 構造:S造 階数:平屋建て 延べ面積:99.94㎡ 工事種別:増築 竣工予定:令和5年2月	有限会社 阪根宏彦 計 画設計事務所 代表取締役 阪根 宏彦